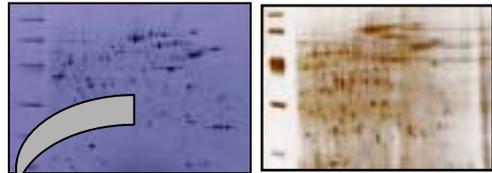


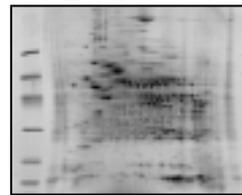
Xciseを用いたプロテオーム解析用ゲル処理の流れ

CBB, 銀染色ゲル



Xcise

蛍光ゲル



Typhoon

中はこんな感じです

脱染色



タンパク質



脱水・乾燥



トリプシン添加



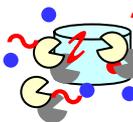
トリプシン



インキュベーション



タンパク質の
トリプシン分解物
(ペプチド)



ZipTipによる
ペプチドの精製

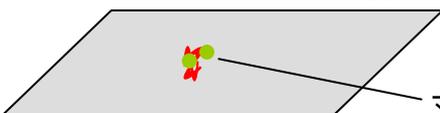


ZipTipからMSプレートへの溶出
およびマトリックスの分注



MSプレート

マトリックス



分注用チップ

384MTP

ZipTip



ゲル処理用96MTP

MSプレート

試薬トレイ

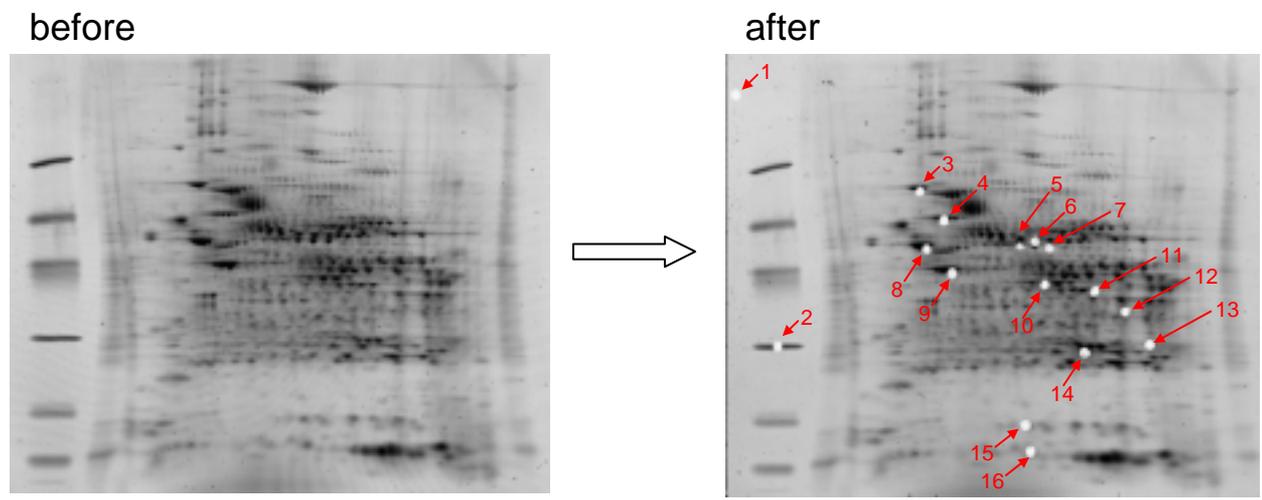
分注用プローブ



このプローブの先端にチップを付けて
試薬を吸引したり排出したりピペッティ
ングしたり、**もちろん自動**で行います。

蛍光 (SYPRO Ruby) 染色のゲルから
スポットを取って解析してみました！！

Typhoonによる蛍光検出



Xciseで16のスポットを抜き取り解析しました。
(白くなっている所が切り抜いたスポットです。)

spot 1: blank
spot 2: marker
spot 3-16: sample

Xciseによる処理
↓
MALDI/TOF-MS

結果

例えば……
spot9は, actinであることが測定されました。

